



令和元年 11 月 21 日
海上保安庁
日本財団

史上最大！七つの海と五大陸から 84 の海上保安機関等の代表が結集
～「第 2 回世界海上保安機関長官級会合」（結果概要）～

11 月 20 日（水）、21 日（木）、海上保安庁と日本財団は、「第 2 回世界海上保安機関長官級会合」を東京で共催しました。84 の海上保安機関等の代表が参加し、海上保安庁からは岩並秀一 海上保安庁長官が、日本財団からは笹川陽平 会長が出席。岩並長官は議長を務めました。

会合においては、

- ・ 海で繋がる海上保安機関間の結束が極めて重要として、対話と連携・協力の強化の場としての本会合の開催を評価・会合運営ガイドラインを策定
- ・ 各国から多くの先進事例の共有が行われるとともに、今後参加者間で有益な情報を共有するための取組みの着手に合意
- ・ 大規模な自然災害や薬物犯罪など国境を越える犯罪等、海上保安分野に係る地球規模の課題に対応できる人材の育成に向けた取組みの着手に合意し、これらを内容とする議長総括を取りまとめました。また、次回の世界海上保安機関実務者会合を来年に東京で開催することになりました。

1 参加国・機関

世界 75 カ国から 84 の海上保安機関及び関係機関が参加。詳細は、別紙 1 をご覧ください。

2 日程

別紙 2 のとおり

3 会議の結果概要

(1) 会合運営ガイドライン

世界海上保安機関長官級会合の「会合運営ガイドライン」が策定され、この会合を持続可能で機能的な枠組みとするための更なる検討を行う検討グループの設置が決定しました。

また、この会合の継続的な開催が支持され、2020 年に第 2 回実務者会合を東京で開催すること、2021 年に第 3 回長官級会合を開催することが決定されました。

(2) 情報共有手法

各国における先進的な成功事例や経験、人材育成のための有益な情報を共有する手法として、ウェブサイトを作成することで合意し、その開設にむけて具体的な検討を行う検討グループを設置することが決定されました。

(3) 海上保安国際人材育成

各国海上保安機関が直面する課題への効果的な対応のため、人材育成が重要かつ喫緊の課題であるとの認識を共有し、「地球規模の課題に対応するための人材育成」コンセプトを策定しました。日本から、このコンセプトに沿った「新たな教育機会」として、来年短期の教育プログラムを試行する用意があることを表明し、参加者から歓迎と積極的な協力の意思が表されました。

(4) 先進的な取組みの発表

チリ海軍及び海上保安庁から地震津波災害への対応と教訓について、太平洋共同体 (SPC: Secretariat of the Pacific Community) から海洋環境、気候、海の安全リスクに対する南太平洋地域の取組について、バリプロセスから海上における移民への対応について、それぞれ発表がありました。また、海上保安庁から海洋ごみ問題への取組について紹介しました。

4 議長総括

以上の議論についてとりまとめ、“the first responders and front-line actors”たる海上保安機関等が直面する課題を克服するためには、全世界の海上保安能力を向上させることが重要であること等を確認する議長総括として発表しました。詳細は、別紙3をご覧ください。

参加国・機関
Participating countries, agencies

別紙 1
Exhibit 1

No.	国・国際機関名 Country, international agency	組織名 Organization
1	日本 Japan	海上保安庁 Japan Coast Guard
2	アルジェリア民主人民共和国 People's Democratic Republic of Algeria	アルジェリア海軍沿岸警備局 Algerian Naval Forces Coast-Guard National Service
3	アルゼンチン共和国 Argentine Republic	アルゼンチン沿岸警備隊 Prefectura Naval Argentina (Argentine Coast Guard)
4	オーストラリア連邦 Australia	オーストラリア国境警備隊 Australian Border Force
5	アゼルバイジャン共和国 Republic of Azerbaijan	アゼルバイジャン国家国境庁 State Border Service of the Republic Azerbaijan
6	バーレーン王国 Kingdom of Bahrain	バーレーン沿岸警備隊 Bahrain Coast Guard
7	バングラデシュ人民共和国 People's Republic of Bangladesh	バングラデシュ沿岸警備隊 Bangladesh Coast Guard
8	ベルギー王国 Kingdom of Belgium	ベルギー沿岸警備隊 Belgian Coast Guard
9	ブラジル連邦共和国 Federative Republic of Brazil	ブラジル海軍 Brazilian Navy
10	ブルネイ・ダルサラーム国 Brunei Darussalam	ブルネイ王立警察隊 Royal Brunei Police Force
11	カンボジア王国 Kingdom of Cambodia	カンボジア国家警察 Cambodia National Police
12	カナダ Canada	カナダ沿岸警備隊 Canadian Coast Guard
13	チリ共和国 Republic of Chile	チリ海軍 Chilean Navy
14	中華人民共和国 People's Republic of China	中国海警局 China Coast Guard
15	中華人民共和国 People's Republic of China	中国海事局 China Maritime Safety Administration
16	コモロ連合 Union of Comoros	コモロ沿岸警備隊 Comorian Coast Guard
17	クック諸島 Cook Islands	クック諸島警察 Cook Islands Police
18	ジブチ共和国 Republic of Djibouti	ジブチ沿岸警備隊 Djibouti Coast Guard
19	エルサルバドル共和国 Republic of El Salvador	エルサルバドル海軍 Naval Operation of El Salvador
20	エストニア共和国 Republic of Estonia	エストニア警察国境警備隊 Estonian Police and Border Guard
21	フィジー共和国 Republic of Fiji	フィジー国軍 Republic of Fiji Military Forces
22	フランス共和国 French Republic	フランス海洋事務総局 Secretariat General for the sea
23	ジョージア Georgia	ジョージア国境警察 Border Police of Georgia
24	ドイツ連邦共和国 Federal Republic of Germany	ドイツ連邦警察 German Federal Police (Bundespolizei)
25	ガーナ共和国 Republic of Ghana	ガーナ海事局 Ghana Maritime Authority
26	ハイチ共和国 Republic of Haiti	ハイチ海運課 Service maritime et de Navigation d'Haiti(SEMANAH)
27	ギリシャ共和国 Hellenic Republic	ギリシャ沿岸警備隊 Hellenic Coast Guard
28	アイスランド共和国 Republic of Iceland	アイスランド沿岸警備隊 Icelandic Coast Guard
29	インド India	インド沿岸警備隊 Indian Coast Guard

30	インドネシア共和国 Republic of Indonesia	インドネシア沿岸警備隊 Bakamla / Indonesia Coast Guard
31	イタリア共和国 Italian Republic	イタリア沿岸警備隊 Italian Coast Guard
32	ケニア共和国 Republic of Kenya	ケニア沿岸警備隊 Kenya Coast Guard Service
33	キリバス共和国 Republic of Kiribati	キリバス警察隊 Kiribati Police Service
34	大韓民国 Republic of Korea	韓国海洋警察庁 Korea Coast Guard
35	マダガスカル共和国 Republic of Madagascar	マダガスカル海軍 Malagasy Navy
36	マレーシア Malaysia	マレーシア海上法令執行庁 Malaysian Maritime Enforcement Agency
37	モルディブ共和国 Republic of Maldives	モルディブ国防軍 Maldives National Defence Force
38	マーシャル諸島共和国 Republic of the Marshall Islands	マーシャル諸島警察局 Marshall Islands Police Department
39	モーリシャス共和国 Republic of Mauritius	モーリシャス国家沿岸警備隊 National Coast Guard
40	メキシコ合衆国 United Mexican States	メキシコ海軍 Mexican Navy
41	ミャンマー連邦共和国 Republic of the Union of Myanmar	ミャンマー海事局 Department of Marine Administration, Ministry of Transport and Communications
42	ナウル共和国 Republic of Nauru	ナウル警察 Nauru Police Service
43	ニュージーランド New Zealand	ニュージーランド王立海軍 Royal New Zealand Defence Force
44	ナイジェリア連邦共和国 Federal Republic of Nigeria	ナイジェリア海事安全庁 Nigerian Maritime Administration and Safety Agency
45	ニウエ Niue	ニウエ警察 Niue Police
46	ノルウェー王国 Kingdom of Norway	ノルウェー沿岸警備隊 Norwegian Coast Guard
47	パキスタン・イスラム共和国 Islamic Republic of Pakistan	パキスタン海上警備庁 Pakistan Maritime Security Agency
48	パラオ共和国 Republic of Palau	パラオ海上保安・魚類野生動物保護局 Bureau of Maritime Security and Fish & Wildlife Protection
49	パプアニューギニア独立国 Independent State of Papua New Guinea	パプアニューギニア国防軍 Papua New Guinea Defence Force
50	ペルー共和国 Republic of Peru	ペルー沿岸警備港務総局 General Directorate of Captaincies Coastguards
51	ポーランド共和国 Republic of Poland	ポーランド国境警備隊 Polish Border Guard
52	ポルトガル共和国 Portuguese Republic	ポルトガル海軍 Portuguese Naval
53	ルーマニア Romania	ルーマニア国境警察 Romanian Border Police
54	ロシア連邦 Russian Federation	ロシア連邦保安庁国境警備局 Border Service of the Federal Security Service of the Russian Federation
55	セントクリストファー・ネービス Saint Christopher and Nevis	セントキッツ・アンド・ネービス沿岸警備局 Saint Kitts and Nevis Coast Guard
56	セントビンセント及びグレナディーン諸島 Saint Vincent and the Grenadines	セントビンセント及びグレナディーン諸島沿岸警備局 Saint Vincent and the Grenadines Coast Guard
57	サモア独立国 Independent State of Samoa	サモア警察 Samoa Police Service
58	サウジアラビア王国 Kingdom of Saudi Arabia	サウジアラビア国境警備隊 Saudi Arabian Border Guards
59	セネガル共和国 Republic of Senegal	セネガル海上保安・救助・環境調整担当高等庁 High Authority for the Coordination of Maritime Safety of Maritime Security and Protection of the Marine Environment (HASSMAR)
60	セーシェル共和国 Republic of Seychelles	セーシェル沿岸警備隊 Seychelles Coast Guard

61	シエラレオネ共和国 Republic of Sierra Leone	シエラレオネ海事局 Sierra Leone Maritime Administration
62	シンガポール共和国 Republic of Singapore	シンガポール警察沿岸警備隊 Singapore Police Coast Guard
63	ソマリア連邦共和国 Federal Republic of Somalia	ソマリア沿岸警備隊 Somali Coast Guard
64	南アフリカ共和国 Republic of South Africa	南アフリカ海上安全局 South African Maritime Safety Authority (SAMSA)
65	スペイン王国 Kingdom of Spain	スペイン治安警察 Spanish Guardia Civil
66	スリランカ民主社会主義共和国 Democratic Socialist Republic of Sri Lanka	スリランカ沿岸警備隊 Sri Lanka Coast Guard
67	タイ王国 Kingdom of Thailand	タイ海上法令執行調整センター Thailand Maritime Enforcement Command Center, Royal Thai Navy
68	東ティモール民主共和国 The Democratic Republic of Timor-Leste	東ティモール国家警察 National Police of Timor-Leste
69	トンガ王国 Kingdom of Tonga	トンガ王国軍 His Majesty's Armed Force
70	トリニダード・トバゴ共和国 Republic of Trinidad and Tobago	トリニダード・トバゴ沿岸警備局 Trinidad and Tobago Coast Guard
71	トルコ共和国 Republic of Turkey	トルコ沿岸警備隊 Turkish Coast Guard
72	ツバル Tuvalu	ツバル警察 Tuvaluan Police Service
73	イギリス United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland	イギリス沿岸警備庁 Her Majesty's Coastguard
74	米国 United States of America	アメリカ沿岸警備隊 United States Coast Guard
75	バヌアツ共和国 Republic of Vanuatu	バヌアツ海事庁 Vanuatu Police Service
76	ベトナム社会主義共和国 Socialist Republic of Viet Nam	ベトナム海上警察 Vietnam Coast Guard
77	欧州海上安全庁 European Maritime Safety Agency (EMSA)	
78	欧州国境沿岸警備庁 European Border and Coast Guard Agency (FRONTEX)	
79	バリ・プロセス(不法移民・人身取引及び関連する国境を越える犯罪に対する地域協力枠組み) Bali Process	
80	国際海事機関 International Maritime Organization (IMO)	
81	環インド洋連合 Indian Ocean Rim Association (IORA)	
82	アジア海賊対策地域協力協定 情報共有センター The Regional Cooperation Agreement on Combating Piracy and Armed Robbery against Ships in Asia - Information Sharing Center (ReCAAP-ISC)	
83	太平洋共同体 Secretariat of the Pacific Community (SPC)	
84	国連薬物犯罪事務所 United Nations Office on Drugs and Crime (UNODC)	

2nd COAST GUARD GLOBAL SUMMIT

November 19th - 22nd, 2019 in Tokyo, JAPAN

【別紙 2】

Tuesday, 19th

-18:00	参加者到着・レジストレーション	ヒルトン東京お台場
18:30 - 20:00	歓迎レセプション	オリオン/ ホテル 1F

Wednesday, 20th

09:00-09:35	開会	ペガサス/ ホテル 1F
09:35-09:55	コーヒーブレイク	ペガサスホワイエ
09:55-10:20	プレナリー 1 - インTRODクシヨN	ペガサス
10:20-10:35	議題 1 - 会合運営ガイドライン	
10:35-10:50	議題 2 - 情報共有手法	
10:50-12:00	議題 3 - 海上保安国際人材育成	
12:00-13:00	昼食	ルミナス(各国代表) / ホテル 3F オリオン(随行者等) / ホテル 1F
13:00-14:35	議題 3 - (続き)	ペガサス
14:35-14:55	コーヒーブレイク	ペガサスホワイエ
14:55-15:55	議題 4 - 先進的な取り組みの発表 1. 自然災害分野: 地震・津波対応(チリ・日本) 2. 環境保護分野: 太平洋における海運とセキュリティ(SPC)	ペガサス
15:55-16:15	コーヒーブレイク	ペガサスホワイエ
16:15-16:50	議題 4 - (続き) 3. 犯罪・セキュリティ分野: 海上混合移民(バリ・プロセス)	ペガサス
16:50-17:00	議長からのコメント	
Evening	フリーイブニング	オリオン

Thursday, 21st

09:00-09:30	プレナリー 2 - 議長総括	ペガサス
09:30-11:00	各国コメント・閉会	
11:30-12:30	昼食	ルミナス(各国代表) / ホテル 3F オリオン(随行者等) / ホテル 1F
13:00 - 16:30	展示訓練・エクスカーシヨN (雨天中止又は変更あり)	晴海ふ頭
18:30 - 20:00	フェアウェルレセプション	明治記念館

Friday, 22nd

	帰国	
--	----	--

第2回世界海上保安機関長官級会合議長総括

2019年11月20日・21日、於東京

1. アジア、オセアニア、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ及び他の地域の海上保安機関及び海上保安機能を有する機関（以後：海上保安機関等と称す）の長は、2019年11月20日から21日の間に東京で開催された第2回の世界海上保安機関長官級会合（以後：世界長官級会合と称す）に出席した。今回の世界長官級会合は日本国海上保安庁と日本財団により共催され、議長は日本国海上保安庁、岩並秀一長官が務めた。
2. 海上保安機関等の長は、海洋の安全及び平和そして美しい海洋環境は、国際社会の幸福と繁栄に不可欠なものであることを再確認した。
3. 海上保安機関等の長は、海上における人命の安全の確保、遭難と災害対応の準備、海洋環境保全、そして国際海洋法のもとでの海洋における法の支配に基づく海洋秩序の確保は、世界中の人々が安心して海を利用し様々な恩恵を享受するための不可欠な基盤であることを再確認した。
4. 海上保安機関等の長は、2017年の第1回世界長官級会合で確認した世界の海上保安機関等の間における既存の地域枠組みを越えた対話と連携・協力の強化の重要性、また、世界が直面している課題を克服するための世界中の地域の知恵と専門的技術そして知識を結集することの重要性を想起した。
5. 海上保安機関等の長は、海上の安全、海上のセキュリティ及び環境保護の対策を継続するという第1回世界長官級会合での決意に基づき、各地域、各国における先進的な成功事例や経験を共有し人材育成システムの構築や地域間協力及び国際協力のあり方についての具体的な検討を行った。
6. 海上保安機関等の長は、気候変化、環境に対する影響、IUU 漁業、組織犯罪による社会的な不安定、過激派による暴力行為、テロの脅威、難民の流入による不安定といった、今日世界が直面する課題に広く対応する国連の持続可能な開発目標（SDGs）の重要性を認識した。また、課題への効果的な対応のための人材育成が重要であり、かつ、喫緊の課題であると認識した。
7. 海上保安機関等の長は、管轄水域が広大な一方、人口が少ないことにより、海上保安業務にも特別な課題を有する小島嶼国について、海上部門が地域社会の暮らしを支えていることを意識し、海上保安分野に関する特別な配慮が必要であることを認識した。また、国際海事機関（IMO）による世界海の日テーマである「海洋コミュニティの女性に活力を

与えること」及び海洋コミュニティへ女性が参加しやすい環境を作る重要性を認識した。

8. 海上保安機関等の長は、海を活動の舞台とするものとして、海洋ごみ問題などの海洋環境汚染について憂慮し、環境保護の取組みについて、海上保安機関等が貢献できる役割の多様性を認識した。
9. 海上保安機関等の長は、2018年の第1回世界海上保安機関実務者会合（以後：世界実務者会合と称す）での議論を経て報告された目的や運営方法等をまとめた「会合運営ガイドライン」を支持した。また、世界長官級会合をより持続可能で機能的な枠組みとするため更なる検討を行うコレスポネンスグループの設置を決定した。
10. 海上保安機関等の長は、先進的な成功事例や経験、海上保安国際人材育成のための有益な情報などを共有するウェブサイトの創設を支持した。また、ウェブサイトの創設のための具体的な検討を行うコレスポネンスグループの設置を決定した。
11. 海上保安機関等の長は、海上保安国際人材育成コアメンバーグループから提案された「地球規模の課題に対応するための人材育成」コンセプトについて支持した。また、「新たな教育機会」を日本が試行する用意があると表明したことについて歓迎と積極的な協力の意志を表明した。
12. 日本から、2020年に開催される第2回世界実務者会合について、東京で開催することを提案したところ、参加した海上保安機関等の長から支持された。
13. 海上保安機関等の長は、世界のより多くの地域からより多くの海上保安機関等が参加し、より深い議論を行い、その結果、会合運営ガイドラインの導入並びに情報共有手法及び人材育成の具体的なコンセプトを示した第2回世界長官級会合によって、対話と連携・協力の強化がより発展したことを歓迎した。また、the first responders and front-line actors たる海上保安機関等が直面する課題を克服するためには、世界的に海上保安機関として共通の行動理念の理解を深め、全世界の海上保安能力を向上させることが重要であると認識した。
14. そして、海上保安機関等の長は、海上の安全、海上のセキュリティ及び環境保護の対策を継続するため、この世界長官級会合を継続するという決意を再確認した。
15. この総括は、参加した海上保安機関等の長の全会一致の支持を受けて第2回世界長官級会合の議長によって作成された。